

フリガナ		所属	大学院人間文化創成科学研究科 博士前期課程 理学専攻
氏名	I Y		情報科学コース 1 年
派遣先名 （国名）	バーギシェ・ブッパタール大学（ドイツ）		
派遣期間	（日本出発日） 2023 年 10 月 3 日		（日本到着日） 2024 年 2 月 12 日
指導教員 氏名	五十嵐悠紀		印

留学生生活を終え、ドイツから帰国しました。留学前と留学後での変化、そして将来のビジョンについて報告いたします。

① 留学前、留学後での変化：

留学前は、異なる文化圏で暮らすことに憧れがあると同時に、未知に対して少し不安や恐怖がありました。しかし、留学を経て多くの変化がありました。まず、言語力の向上が挙げられます。ヨーロッパに渡航経験もなく、ドイツ語も挨拶程度しかわからなかった状態から、留学後は、ドイツ語の駅のアナウンスを聞き取れるレベルに向上しました。主なコミュニケーション言語であった英語も、留学生の友人たちと会話することでリスニングとスピーキングのスキルが向上しました。帰国後 TOEIC の試験を受けましたが、留学前よりも手応えを感じました。また、中国人留学生の友達も多くなったため、中国語の能力も上がりました。この言語力の向上により、異なる文化やバックグラウンドを持つ人々と円滑にコミュニケーションを図ることができるようになりました。また、留学前は座学で本を読んで学ぶことに焦点を当てていましたが、留学先で受講した授業の実践的な課題を多くこなすこと通じて手を動かして実地的に学ぶスキルを磨くことができました。また、高校の時世界史を選択し、ヨーロッパの歴史や文化にもとても興味がありました。歴史的に有名な場所や、文化、音楽、美術に実際に触れ、教科書上で学んでいたことをより深く理解することができました。

精神的な面でも、留学は自己成長の機会でした。新しい環境や異なる価値観に触れ、柔軟性や対応力を身につけることができました。日本語の通じない場所で 1 人で旅行したり、滞在許可証の取得に手こずったり、困難な状況に直面することでの適応力や危機管理能力の向上も感じています。

② 将来のビジョン：

留学を経て、将来のビジョンは一層明確になりました。様々な国籍の友人を得ることによって、私は就職活動において、世界的に影響を及ぼすことのできる仕事に就きたいと考えるようになりました。これを達成することを軸に現在就職活動を行なっています。留学先で培った専門知識やスキルを活かし、国際的な視野を持ちながら、世界的に通用するプロフェッショナルとして成長することが目標です。日本の技術で世界をより便利にするような仕事をしたいと考えております。



また、留学を通じて築いた国際的なネットワークを活かし、異なる文化や背景を持つ人々と協力し、グローバルな課題に対処できるリーダーシップを発揮したいと考えています。私のビジョンは、留学を通じて得た経験を土台にして、よりよい社会の構築に貢献し、個人としても一層成長していくことです。また、ドイツでの留学経験の中で得た語学力を証明するために、ドイツ語検定や中国語検定にも挑戦したいと考えています。また、ドイツでできた友人とも交友を保ち、また再会できる日まで、英語やドイツ

語、中国語の語学力をさらに向上させるべく自己研鑽に励みたいと考えています。留学を通じて得た貴重な経験と知識を胸に、これからも成長し続けていきたいです。以上が、私の留学前後の変化と将来のビジョンについての報告といたします。